

東北地方太平洋沖地震を踏まえた河口堰・水門等技術検討委員会

設 立 趣 旨

平成 23 年 3 月 11 日に発生した東北地方太平洋沖地震及び当該地震に伴う津波（以下「東北地方太平洋沖地震等」という）により、東北地方を中心に多くの堰、水門等の河川構造物が損傷を受けた。

被災地においては、被災施設の早急な補修・復旧が喫緊の課題であるとともに、全国的にも、今後高い確率で発生することが懸念されている大規模な地震、津波災害に対して、技術的指針等の整備が喫緊の課題である。

このため、被災施設の早急な補修・復旧に向けた方針、現時点では必ずしも統一的な考え方が確立されていない大規模地震やそれに伴う津波に対する河口堰・水門等の基本的な操作のあり方、設計条件として考慮すべき地震動及び津波外力の考え方等について、河川工学や河川構造物、津波に関する多領域に亘る諸分野の高度かつ技術的な検討が必要となることから、「東北地方太平洋沖地震を踏まえた河口堰・水門等技術検討委員会」を設立するものである。

東北地方太平洋沖地震を踏まえた河口堰・水門等技術検討委員会

名 簿

委員長	山田 正	中央大学理工学部都市環境学科	教授
委 員	角 哲也	京都大学防災研究所水資源環境研究センター	教授
委 員	芹澤 富雄	社団法人ダム・堰施設技術協会	審議役
委 員	高見 勲	南山大学情報理工学部システム創成工学科	教授
委 員	田中 仁	東北大学大学院工学研究科土木工学専攻	教授
委 員	服部 敦	国土交通省国土技術政策総合研究所河川研究部	河川研究室長
委 員	藤田 光一	国土交通省国土技術政策総合研究所	河川研究部長
委 員	藤野 健一	独立行政法人土木研究所技術推進本部(先端技術)	主席研究員
委 員	藤間 功司	防衛大学校システム工学群建設環境工学科	教授
委 員	渡辺 博志	独立行政法人土木研究所材料資源研究グループ 基礎材料チーム	上席研究員

五十音順

東北地方太平洋沖地震を踏まえた河口堰・水門等技術検討委員会

検討内容（案）

4月24日

現地調査：河口堰・水門等の被害状況

4月26日

第1回：本委員会の目的、検討内容、現状把握

- 設立趣旨、検討スケジュール、検討内容確認
- 津波の河川遡上と河口堰・水門等の施設の被害状況
- 現状における設計時の津波外力の考え方

5月中旬

第2回：東北地方における河口堰・水門等の復旧に向けての提言（案）

6月中旬

第3回：基本的方向性の確認

7月下旬

第4回：「河口堰・水門等の津波に対する設計、操作等の考え方」
提言の中間とりまとめ

9月上旬

第5回：「河口堰・水門等の津波に対する設計、操作等の考え方」
提言とりまとめ